

高校卒業後、進学する子どもへの対応②

有限会社エクティエルシステム 代表取締役
横浜都筑ニュータウンチャペル会員

大村 信蔵



今号は、クリスチャンの親が18歳以上で信仰を持って
いる子どもに何を伝えるか?ということに焦点をあてて
述べていきたいと思えます。大学や短大、専門学校に入
学した後、親子で話し合う大きなテーマが最低2つあり
ます。①進路・就職・アルバイト②恋愛・交際・結婚です。



①進路・就職・アルバイト

本人が目標をもって大学等に進学した場合は、その目
標に向かって進むことが多いですが、在学中に、今学ん
でいることは自分に合わないのではないかと、授業が
つまらないとか、授業についていけないとか、言い出す
ことがあります。親としては「えっ!どうしよう!」と思
います。その理由は、「社会に出て生きていけるのだろ
うか」という不安ではないでしょうか。

本人が進むべき道を探るのに、在学中のアルバイトは

有効だと思えます。ただし、本人が専攻している内容に
関するアルバイトをお勧めします。学校の授業を受けて
いる内容と、実際に勤めて現場で体感することは大き
な差があるからです。授業についていけないと思つて
も、アルバイトをしたら、興味が湧いてきて勉強しよつ
という意欲が出てくることもあります。また、やつぱり
この職種を目指していこうと確信して、さらに意欲が増
すこともあります。その反対に、自分がなりたかつた職
業は体力が足りなくて駄目だとか、細かい作業を継続す
るのが耐えられないとか、いろいろな問題点が見つかり、
自分は何の職業に向いているかを探る手掛かりとな
ります。この点はあまり強調したくないのですが、パイ
ト先で店長や上司の方から好印象を持たれると、就職活
動時期に内定している可能性もあります。今の時代、受
け入れる会社はなるべく戦力になる学生を迎え入れたい
と願っているからです。

本人が興味がある仕事に就くことは、とても幸せです。
苦しくてもつらくてもそれを超える楽しさを見出すから
です。そのような職業に出会えることを、親としては祈つ
てサポートしたいと思いませんか。ですから、在学中に
いろいろな体験をすることが大切です。そのためにお金

が必要な場合、金額にもよりますが、両親が出資するの
ではなく、本人が自分の力で得て、実行していく方向で
考えるのが良いと思えます。その一連の流れが本人の自
信にもつながっていきます。

私の子どもたちの中の一人は、建築学科を専攻しまし
た。ある日、「アルバイトをしたい」と言ってきたので、
「建築事務所のバイト先を探したり、大学の教授に相談
してみたら」と言いました。それで、大学の教授にパイ
ト先を相談したところ、自宅の近くの自治会からハザー
ドマップ作成の依頼が来ていました。本人は東日本大震
災の現状を目の当たりにしてから、いろいろなことを考
えるようになり、そのアルバイトを引き受けることにし
ました。そばで見ていると、大変な作業だと私は思いま
したが、本人は「大変だけど楽しいよ」と言っていたの
を思い出します。

また、別の子は農業を専攻しましたが、入学して1カ
月すると、「アメリカに行く」と言い出しました。「あな
たは、英語がとても不得意でしょ」と言ったところ、「で
も、こういう研修制度があるんだ」と真剣に話してくる
姿を見て、これなら大丈夫かなと思ひ、「とにかく頑張つ
てごらん」と言いました。果たして、その子は短大卒業
後、長野の農園で研修し、アメリカに1年9カ月滞在し、
研修を終えて帰国しました。さらに、野菜作りを学ぶた
めに1年間学校に行き、今は近くに約23アール(約700坪)
の土地を借りて無農薬で有機野菜の農業にチャレンジし
ています。

私は、仕事は神から与えられた使命だと思っています。
この使命を在学中に見つけ出すことができたら、なんと
幸せでしょうか。

